

栃木医療センター

No.36 2018 October

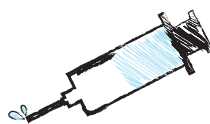
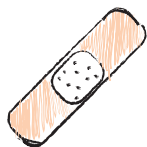
理念
信頼 貢献 協働



Contents

- 診療科紹介（外科） 1
- 紹介（認知症看護認定看護師） 2
- 職員紹介 3・4
- 認知症研修 5
- 連携医紹介（富塚メディカルクリニック） ... 6
- 眼科一次救急のご案内・病院地図 裏表紙

診療科紹介



外科～悪性腫瘍の診療を中心に～

外科部長 鈴木 慶一

当院の外科は、本年度4月より新体制となり、これにより上部消化管、下部消化管、肝胆膵の3領域を専門とする常勤医が揃い、各医師が専門性を十分に発揮できるように診療体制を整えました。

言うまでも無く外科の本分は悪性疾患の治療です。当科はこれまで以上に各悪性腫瘍の診療に力を入れております。上部消化管領域では、腹腔鏡下胃切除術を基本術式として行い、縮小手術が可能ならば腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）、高度進行例では開腹手術をと、必要に応じて様々な治療法から最適治療を選択することが可能です。下部消化管領域でも鏡視下手術を標準術式として行っております。本年度になり大腸癌症例が増加し、担当専門医・パラメディカルとも大変充実して診療に当たっております。肝胆膵領域では、高度技能指導医が赴任したことにより手術症例が増加してきました。肝細胞癌、胆道癌、膵臓癌に対しては拡大手術を含め積極的に切除術を行っております。またこの分野でも鏡視下手術を導入し、小型肝腫瘍であれば腹腔鏡下肝部分切除を、膵腫瘍では低悪性度腫瘍や良性疾患に対しては腹腔鏡下膵切除術を積極的に行っています。

外科の診療は手術だけではありません。当科では化学療法も担当しております。外科が薬物治療を行うことにより、術前化学療法の適応や術後補助療法の是非などをシームレスに決定することができ、患者様にも一貫性を持った治療方針を提示することが可能です。

内視鏡治療においては、当院の消化器内科と協力して当たっています。早期胃癌の合同治療や、胆膵疾患の内視鏡的治療など幅広い分野で共同で診療に当たることで、情報の共有や治療方針の決定に大いに有益であると考えます。

乳腺疾患においては、非常勤医師が当院特有のセミオープン手術室制度を利用していただき、年間70～80の乳癌手術を行っています。化学療法・ホルモン療法も常勤医が行っており、術後のフォローアップ体制も十分整っております。

当院の最大の利点は、消化器内科をはじめとした他科やスタッフとの垣根無い共同診療体制です。患者様一人一人の診療を大切に、全病院をあげて診療に臨んでおります。



後段右端が筆者↑

急性期病院での認知症ケア

認知症看護認定看護師 佐藤 享子

栃木医療センターでは、2018年4月に高い専門性と実践力ある認知症ケアを提供したく、多職種チームでの連携・協働できる「せん妄・認知症ケアチーム」（以下、チームと示す）を設立しました。チームは認知症担当医師、担当看護師長、薬剤師、リハビリ、社会福祉士、各病棟リンクナース、認知症看護認定看護師で構成されています。

チーム目標は、「急性期病院で認知症高齢者が安心して治療に専念できる療養環境の提供」。この目標に沿い、各病棟、対応に苦慮する事例の依頼を受け認知症看護認定看護師が、カルテから情報収集後、病棟へ伺い患者、看護師より情報収集を行っています。その後、チームカンファレンスで相談し、それぞれの専門性からアセスメント後、対応を考えています。

2025年には、団塊の世代が全員後期高齢者となり認知症高齢者が700万人を超え、高齢者の5人に1人が認知症高齢者となります。そうすると、認知症を患うことは長い老いの過程において誰もが他人事では終わらず、自分の親や祖父母、いずれは自分にも起こる可能性があります。

急性期病院に入院する認知症高齢者は、身体疾患の増悪による苦痛や慣れない環境で不安が大きく興奮や混乱をきたしやすいです。ケアに関わる看護師は、怒鳴る、ケア拒否、拒食などの行動の対応に困難を感じてしまいます。

認知症看護では、認知症ケアの本質である「その人らしさ」を視点に情報収集し、声を言葉として捉えることが大切です。声には不眠、ケア拒否、帰宅欲求など、言語化できない要件やニーズなど意味内容があります。声を聞こえるようにチームで関わり、ケア提供を行っています。

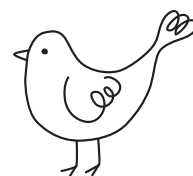
急性期病院での身体疾患の治療の多くは、安静を強いられ、点滴や検査など心身的にもストレスが生じる環境です。その環境で、認知症の発症や悪化、せん妄などの行動・心理症状が生じ元の生活に戻れなくなることもあります。

私は認知症看護認定看護師として、治療を進めると同時に入院環境を整えられるよう、病棟ラウンドやチームの回診を通じ病棟スタッフと関わり、一緒に考え、患者の安心と安寧のケアを提供していきたいと考えています。



職員紹介

4月に入職して、約半年が経ちました！



庶務係 中里 彩佳



庶務係に配属されてから、主に旅費業務を担当しています。旅費を支給するまでの流れや効率的かつ経済的な旅行経路の算出方法など、毎日が勉強であり、慣れるまで非常に苦労しました。その中で、迅速かつ正確に業務を行う為には、しっかりとした知識を身に付け、多くの経験を積むことが大切だと感じました。まだ分からないことも多く未熟ですが、自分に出来ることは精一杯頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

出身地：栃木県

趣味：水泳、旅行、音楽鑑賞

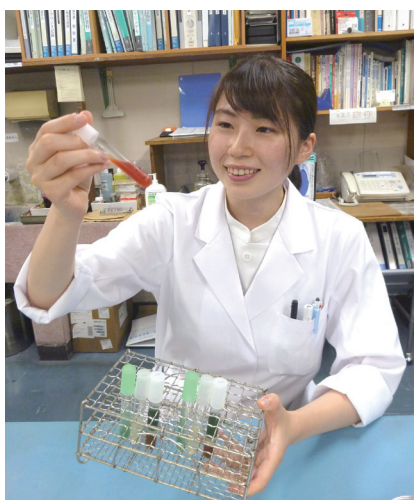
薬剤師 島田 理美

現在、病棟で患者さんに寄り添い、より円滑な治療を受けられるよう薬剤師として治療効果のアセスメント、処方提案を行っています。

医師、看護師など多職種連携を通じて患者さんやそのご家族を支えることが出来るよう日々精進しているところです。よろしくお願いいたします。

出身地：東京都

趣味：ダンス



臨床検査技師 黒岩ひかり

当院の臨床検査科では患者さんの血液・尿などを調べる検体検査部門（一般検査、血液検査、生化学血清検査、輸血検査、細菌検査、病理細胞診検査）と生理検査部門（心電図、超音波など）があり、それぞれの検査を臨床検査技師17名で行っております。

4月に入職し、はじめは教わったことをきちんとこなしていくことに精一杯で周りに迷惑をかけてしまうこともありましたが、先輩方が丁寧に教えてくれるのでだんだんと仕事を覚えることができました。今はまだ不慣れな部分もありますが、皆様がより良い医療を受けられるように日々精進していきたいです。

出身地：群馬県

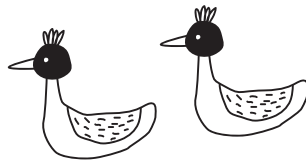
趣味：テニス、料理、映画鑑賞



3階病棟 看護師 鈴木美紗登

入職し半年が経過し徐々に一人で行える看護技術や業務が増え、大変さを感じる事もありますが、患者さんに感謝されることに喜びを感じながら日々看護を行っています。今後は、まだまだ知識も技術も未熟なため学習を重ね少しでも早く戦力として働けるように努力していきたいです。また、どんな時も患者さんを第一に考え看護を行っていききたいです。

出身地：栃木県



4階病棟 看護師 岡田 莉奈

入職後半年が過ぎ毎日充実した日々を送っています。徐々に業務にも慣れてきて、自分でできることが増えていくことが今はとても嬉しく感じています。多くの患者さんからの温かい言葉や笑顔がやりがいにつながり、チームの一員として多職種と連携を図りながら看護を行っています。看護師として業務に臨むにあたり、今後も先輩方からご指導をいただきつつ「日々学習」に努め責任ある行動を心がけていきたいと考えています。
※真ん中が筆者。

出身地：栃木県



5階病棟 看護師 井岡由加里

看護師として入職後半年が過ぎました。看護師として働いていることに喜びを感じる反面、人の命に関わる仕事であるということに対し責任の大きさや自分の未熟さを感じています。技術・知識不足で分からないことが多く、先輩看護師が新人私達をサポートして下さり、毎日多くの学びを得ることができ充実しています。患者さんのニーズに沿った看護ができるよう患者さんの目線に合わせた看護を行なっていけるよう努力していきたいです。

出身地：栃木県



宇都宮市西ブロック

平成30年第1回ネットワーク研修会

地域医療連携室 小林 誠子

栃木医療センターは宇都宮市医療・介護連携支援ステーション運営業務を4月1日より行っています。この事業は、市民が、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、医療・介護連携を支援する窓口を設置することにより、在宅医療と介護サービスを市民に一体的に提供する体制の構築に資することを目的としています。宇都宮市内を東・西・南・北・中央の5ブロックに分割し各ブロックにステーションを設置しており、栃木医療センターは西ブロックの担当です。業務内容はブロック内の医療・介護等従事者からの相談業務と連携支援、ブロック内の地域包括支援センターを対象とした情報交換会、多職種の顔の見える関係の構築に向けた研修を年2回実施すること等です。

6月26日に第1回ネットワーク研修会を大会議室にて実施しました。

テーマ「認知症の“人”を理解しよう～パーソンセンタードケア」

講師は小林正樹先生に依頼し、せん妄・認知症チームの皆様にもご協力いただきました。参加定員は40名でしたが、80名を超える応募があり、テーマへの関心の高さがうかがえました。介護支援専門員、社会福祉士、介護士、薬剤師、看護師、理学療法士と多職種が参加しました。事例をもとに、「もしあなたがこの方の担当になったら、今後のケアを考えていく上でどのようなことを知りたい、聞きたいか?」「どのような点を意識、注意してこの方と接していくか」をグループワークしました。

ネットワーク研修は、顔の見える関係づくりも目的にありますが、グループワークに十分な時間をかけたことによりその目的も果たすことができました。受講者からは「多職種の方と話をし、各々の考え方があることを知り大変勉強になりました。」「顔の見えるネットワーク作りを意識しつつ、認知症への理解が深まりました。また参加させてください。」などの感想が寄せられました。次回も他職種が交流しながら、顔の見える関係性を構築できるような有意義な研修会を企画したいと思います。



富塚メディカルクリニック

院長 富塚 浩

当院は宇都宮市徳次郎町にて平成16年に開院し、今年で15年目になるクリニックです。

現在、内科、小児科、整形外科、人工透析内科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、神経内科、心療内科を標榜し、自治医科大学の教授や准教授などの非常勤医師を招請して医師10人以上の体制で診療を行っております。

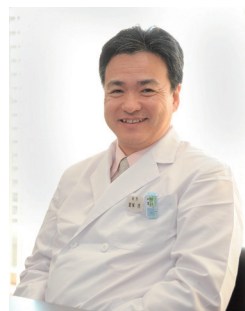
栃木医療センターさまには当院からのさらなる加療が必要となった患者さまをいつも早急に対応していただき、先生方をはじめ、外来、病棟のスタッフ、事務スタッフの方々には心から感謝申し上げます。患者さまからは貴院の皆様が大変親切で丁寧な対応をして下さるとお話をいただいております。

当院も、優しさをもって接し相手の身になって対応できる医療、「真心医療」を理念に掲げ、患者さまの立場にたつことのできる優しいクリニックであるよう心掛けております。

当院では、一般X線撮影装置、CT、MRI、血液自動分析装置、超音波診断装置、上部内視鏡（胃カメラ）等を院内に設置することにより、すぐに結果を出し、診断を早くする「リアルタイム診療」を実施しております。診察から検査、診断までの行程が短時間で済み、早期治療を開始することで、患者さまのお身体や精神的なご負担を軽減することができます。また、院内薬局を採用することで、スムーズなお薬のお渡しと、院外薬局に比べ経費上の負担もできるだけ少なくできるよう努めております。

今や、30代はもはや20代からでも起こりうる、高血圧・糖尿病・動脈硬化による心臓病や脳卒中、そしてがんなど、重大な健康障害要因である「生活習慣病」は、心掛けひとつでリスクを大幅に少なくできるのです。生活習慣病予防のために、「健康診断」、「人間ドック」、「脳ドック」を受けて自分の体に関心を持ち、理想的な生活習慣を保てるよう知識を深めておくことが大切です。当院では「リアルタイム健康診断」と称した即日結果報告システムを採用し、これらの健診やドックの結果を当日にお伝えしております。こちらを利用していただくことで患者さまの健康状態の維持のお手伝いができればと考えております。

当院は、幅広い標榜科、多くの専門医による診療と、数々の検査機器、慢性維持透析のできる透析センター、個室を含め19床ある入院施設を備えております。真心のこもったサービスを徹底し、地域医療にますます貢献していく所存でございますので、これからさらに栃木医療センターさまと連携を深めていきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。



富塚 浩

富塚メディカルクリニック 院長
医学博士
日本内科学会 総合内科専門医
平成30年度評議員
日本血液学会 血液専門医
自治医科大学 非常勤講師

ご案内

〒321-2116
栃木県宇都宮市徳次郎町888
電話 028-666-2555

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前 9:00～12:30	○	○	○	○	○	○	×
午後15:30～18:30	○	○	○	○	○	×	×

休診日：（土曜日午後、日曜・祝祭日）

* 院長は、原則として毎日診療しております。

但し、火曜日午後は、校医・産業医・往診などにより不在となります。

眼科一次救急のご案内

当院では栃木県眼科医会と連携して、眼科の一次救急患者さんの診療を行っております。

栃木医療センターの医師ではなく、栃木県眼科医会から派遣された眼科医師が栃木医療センターの診察室で診療を行います。

なお、派遣された眼科医師は担当する日にちの診療後、各自の診療所に戻りますので栃木医療センターで継続的に受診することはできません。

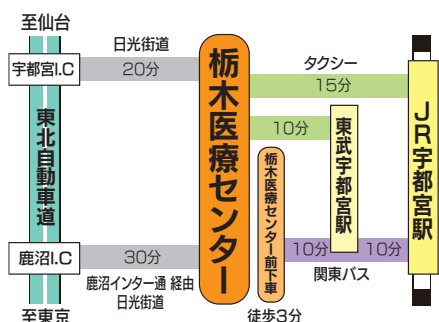
受診を希望される場合は、まず下記の連絡先にお問い合わせください。



診 察 日 日曜日、祝祭日、
年未年始（12月30日～1月3日）
診療時間 10:00～17:00
連 絡 先 028-622-5241（代）



交通のご案内



発行人

独立行政法人国立病院機構

栃木医療センター

院長 長谷川 親太郎

〒320-8580

栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37

TEL. 028-622-5241

FAX. 028-625-2718

URL. <http://www.tochigi-mc.jp/>

